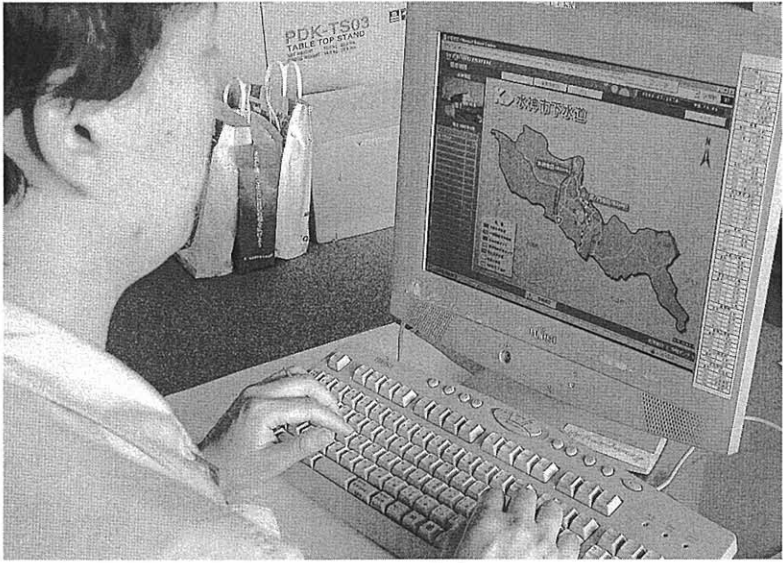


水処理施設の計測、制御、監視システム



インターネットで送られた遠隔管理、操作の画面

島根県内外の47市町村、601施設に納入

やくも水神 売上げ好調 全国展開加速

同社は一九九二年に公衆電話とコンピュータを利用した「やくも水神」を製品化。浄水場や配水池、ポンプ場、処理場を公衆電話回線で結び、各施設の情報が役所などの遠隔地から一括監視し、異常があれば警報を発する画期的なシステムとして注目を集めた。さらに九四年には自動制御機能を加えて改良し、排水の浄化処理と計測、監視などを一体化。環境関連機器の製造、販売を手掛ける小松電機産業(株) (松江市乃木福富町、小松昭夫社長、☎0852・32・3636) が開発した公共上下水道や農業集落排水など水処理施設の計測、制御、監視システム「やくも水神」シリーズが全国で売上げを伸ばしている。NTTドコモのiモードとインターネットを利用し、携帯電話などで遠隔監視、操作できるのが最大の特徴。これまで四十七市町村、六百一施設に採用された。同社のデータセンターに加え、七月には東京・代々木のNTTドコモコーポレーション内に自前のサーバーを設置してリスクを分散し、セキュリティを強化。市町村合併に伴うシステムの広域化をにらみ、七月二十一日二十五日に東京・ビッグサイトであった二〇〇三年度の下水道展に出品するなど全国展開を加速している。

小松電機産業

九五年に科学技術庁の「注目発明」に認定された。IT社会の到来をにらんでインターネットを利用した制御システムの開発に着手し、二〇〇〇年九月からはNTTドコモのiモードとインターネットを使った「新水神ネットワークシステム」を構築し、やくも水神の能力をさらに向上させた。このシステムにより、水処理の各

種現場装置から発信された情報はNTTドコモのDopac網から専用線で本社にあるデータセンターに送信。さらにインターネットで携帯電話やパソコンに届けられ、複数の人が情報を共有できる。特別な中央監視装置は不要でコストを格段に削減できる。水位や水量、流量、水質などの状況やポンプの運行履歴がリアルタイムに把握できるほか、非常時には警報メールも発信。パソコンや携帯電話から機器の遠隔操作も可能になった。また、報告書類の自動作成、情報の一元管理が可能で、市町村合併などで広域化する維持管理業務をサポートできる。同社は全国のユーザーに「安心して導入し、使ってもらおう」(小松社



本年度の下水道展に出品し、自治体関係者らの注目を集めたやくも水神(パッケージ型)

携帯電話で遠隔操作 ドコモにサーバー設置

特別なソフトウェアやハードウェアも必要なく、これまで導入に二の足を踏んでいた民間の維持管理企業でも容易に活用できる道を開いた。災害にも強く、ファイアーウォールな

ど不正侵入防止機能もある。国内で初めて、雷の直撃を含む雷被害を五年間保証する仕様もある。これまでに島根県内では松江、出雲市はじめ加茂、木次、三刀屋町、羽須美村などが導入。県外では東京都町田市や栃木県小山市、兵庫県姫路市などが採用している。羽須美村などでは、同システムが汚濁状況など各現場の水質情報をリアルタイムでパソコン端末に送ることができ、ことを利用し、小中学生の環境教育に役立てる自治体も始めている。また、同社は宍道湖や中海など湖沼の水質環境保全などを目的に、大学などにリアルタイムでデータを送り、共同研究を進めることを自治体に提案している。

同社年商(約三十億円)のうちやくも水神シリーズの出荷額は〇三年三同期が五億円。〇四年三同期は八億円を見込んでいる。

小松社長は「携帯電話と電源が確保できれば山の中や遠隔地でもシステムは動く。上下水道から農漁業施設、廃棄物処理場などあらゆる水処理の現場で幅広いニーズに対応でき、水環境の保全に貢献する」と話している。